

【コロナ特別対応型・補助金事務局提出用】

(様式第8)

令和 3年 10月 31日

独立行政法人中小企業基盤整備機構
理事長 殿

住 所 神奈川県川崎市多摩区菅6-1-13
名 称 株式会社STORYSVILLE
代表者の役職・氏名 代表取締役

森田英明

印

※共同申請の場合は連名

小規模事業者持続化補助金に係る補助事業実績報告書

小規模事業者持続化補助金＜コロナ特別対応型＞交付規程第18条第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 補助事業名（補助金交付決定通知書の日付を記載のこと。）

小規模事業者持続化補助金事業

（令和 2年 10月 30日交付決定（第 3回受付締切分））

2. 事業期間

開始 令和 2年 10月 30日

終了 令和 2年 10月 31日

3. 実施した補助事業の概要

（1）事業者名

株式会社 STORYSVILLE

（2）事業名

自宅で学ぶファッションアドバイスオンラインサービス

（3）事業の具体的な取組内容

洋服選びで、何を着たらいいのかわからない。コーディネートがわからない。自分に似合う服がわからない。垢抜けたコーディネートがわからない。といったお悩みを抱えている40代男性に、オンラインツールを使いファッション教室を開催しお互いに自宅にしながらファッションアドバイスを行うことができた。

具体的な内容として、

- ① オンライン教室を運営して成功実績のある専門家にコンサルティングを依頼してオンラインセミナーから運営までのやり方を指導してもらいカリキュラムを作成することができた。
- ② メールマガジン上でファッション教室に参加希望の高い見込み客にアプローチするシステム（メルマガ配信システム）とメンバーシップサイトを導入することができた。
- ③ グーグル などウェブ 広告を使いメールマガジンの読者を増やすことができた。
- ④ メールマガジン読者に情報発信を行い、当社のファッション教室を信頼してもらうことができた。
- ⑤ メールマガジン配信システム上で非対面の個別営業を行い年会費 24800 円の受注につなげる仕組みを作ることができた。

(4) 事業成果（概要）

今回の新事業は弊社にとってこれからの事業になるため、知名度を高めるためにウェブ広告運用資金として広告を自社運営し、ターゲットへの認知度を上げることができた。

会員サイト構築とオンライン教室の運営経験がある専門家のコンサルティングを受けることで、迅速な運営体制を整えることができた。

まだ当サービスを利用したことがない見込み客に対し信頼関係を構築しながら情報発信するために、メールマガジン配信システムを構築することができた。

(5) 事業経費の状況

- ・支出内訳書（別紙5 又は別紙6）

(6) 本補助事業がもたらす効果等

■ 個別アドバイスのみの場合には物理的なクライアント数に制限がかかるが、オンライン形式でのアドバイスにすることで1度に多数のクライアントをサポートすることができた。

■ メールマガジンでは読者全員に一般的なファッションに対するアドバイスを行い、オンラインツールでの教室ではより個人的な洋服に関するアドバイスが移動せずに自宅にいながら行えるので、一人一人に対するサポートの時間も十分に保つことができた。

■ アドバイスのほとんどがオンラインで行えるので、移動時間や移動コストを抑えるとともに、政府が提唱する「新しい生活様式」にいち早く対応した非対面型で次世代型のスタイルを確立できた。

■ 何を着たらいいのかわからないという悩みを解決することができ、オンラインでの着こしの提案と共に代官山のショップをおすすめし、お買い物をする中で、専属のスタイリストがすすめてくれて代官山で購入した。というお客様のこだわりを目に見える形でブランド化できた。（何を着ればいいのか？という悩みも解消できた）

■ こうして会員様が代官山でオンラインを使い洋服を購入することで代官山地域の売り上げに貢献できた。

■ 直接人と対面する回数が少なくなるので、コロナ感染症予防に貢献できた。

(7) 本補助事業の推進にあたっての改善点、意見等

、